

事業評価票（監理団体への支出予算）

9	スポーツ国際交流事業 (オリンピック・パラリンピック準備局)	団体名	(公財) 東京都スポーツ文化事業団	区分	その他	27年度予算額	261,492 千円	26年度決算額	254,576 千円	
事業内容・ 団体への支出理由	・姉妹友好都市等からジュニア世代を招待し、国際スポーツ大会を開催。同世代の他国の選手と交流することにより競技力向上はもとより、人格面での成長も促し、スポーツを通じた健全育成を図る。また指導者交流事業も展開している。共催するスポーツ文化事業団は多くのイベントを運営しているだけでなく、テクニカルサポート事業など競技力向上事業も実施しており、事業運営ノウハウの蓄積がある。									
成果・決算状況 ・課題等	・本事業に参加し、プロになる選手もいるなど、ジュニア世代の競技力向上に寄与しており、予算執行率も高い。現在は健常者の国際交流大会となっているが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け障害者スポーツの観点も取り入れた大会の開催が求められている。									
見積概要 (局評価)	・東京2020大会に向けた障害者スポーツ振興の観点から、平成28年度は海外から障害者スポーツ選手を招聘し、エキシビジョンマッチ等を実施する。このことにより大会の参加者等に障害者スポーツの魅力を伝えるとともに、運営面でも審判やボランティア等東京2020大会に向けた準備の機会とする。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度見積額	291,492 千円		
行政改革推進部 評価	・スポーツを通じた国際交流を実現する本事業の実施者には、公共性及びスポーツ行政に関する知見の両者が求められる。東京都主催であるが、上記の条件に合う本財団が共催者として事業運営に参画することは妥当である。 ・今後は障害者スポーツの要素を取り入れることにより、より一層の障害者スポーツ振興が期待できる。						適正性、実施状況等からの評価			
							拡大 充実	見直し 再構築	継続実施	
財務局評価	・様々な場面を捉え、障害者スポーツの振興や理解促進に向けた取組を行うことが求められている。本事業を通じて障害者スポーツの要素を取り入れていくことは妥当であり、見積額のとおり計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度予算額	291,492 千円		
10	沿道一体整備事業用地取得（十条・目黒本町） (都市整備局)	団体名	(公財) 東京都都市づくり公社	区分	委託	27年度予算額	1,410,743 千円	26年度決算額	1,666,731 千円	
事業内容・ 団体への支出理由	・都市計画道路の整備と沿道まちづくりを一体的に行うことにより、都市基盤の整備や密集市街地の改善を図る。 ・都市計画道路整備のための道路用地買収を契機に、土地区画整理事業で培ったノウハウを活用し、木造住宅密集地域の市街地整備を実施する。									
成果・決算状況 ・課題等	・平成26年度は、十条地区及び目黒本町地区で1,805.30㎡の用地取得を行った。									
見積概要 (局評価)	・十条地区及び目黒本町地区において委託した路線の用地取得（1,491㎡）を進めるための費用を計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度見積額	1,710,781 千円		
行政改革推進部 評価	・本事業は、「道路整備と一体的に進める沿道のまちづくり」事業に係る道路整備に伴う用地取得事業である。 ・道路整備と一体的にまちづくりを進める本事業は、道路整備に合わせて民間活力を誘導しつつ、区と連携して地域住民と円滑な合意形成を図り、沿道の効率的な土地利用を進め、都の重要課題である木密地域の更なる解消を促進する極めて公共性の高い事業であり、本公社への委託は妥当である。						適正性、実施状況等からの評価			
							拡大 充実	見直し 再構築	継続実施	
財務局評価	・本公社が、都と協同して権利者対応を行うことで、道路整備と一体的に進める沿道まちづくりの更なる促進が図られることから、引き続き本公社に委託して業務を実施することは妥当である。 ・事業費については、延焼遮断帯を早期に形成し、木造住宅密集地域の改善を着実に実行する必要があるため、見積額のとおり計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
							28年度予算額	1,710,781 千円		